

戦争体験を語り継ぐ会

国民洗脳の実態、軍隊の闇、戦闘の実像、シベリア収容所の労苦…
～ 最後の日本兵が、今、若者たちに伝えたいこと



講座の紹介

今から70年以上も前…。日本は中国大陸を侵略し、満州という国を作りました。満州という地名は、戦争をテーマにするドラマや映画でよく耳にしますね。この満州国を防衛していたのが日本の軍隊であった関東軍です。関東軍は、征服したこの地の中国人を統治し、ソ連（現在のロシア）との国境を守っていました。第二次世界大戦末期、満州に侵攻したソ連軍と日本は戦っています。これが日ソ戦です。戦争に敗れた関東軍は降伏し、60万人以上の軍人と満州在住の16歳以上の男性は、ソ連のシベリア地方に連行され、そこで強制労働を強いられ、多数の死者を出します。

本講座は、元関東軍兵士を招き、当時の時代背景、軍隊生活の実態、日ソ戦の死闘の様子、シベリア捕虜収容所における強制労働の実態などを、当時の写真や資料などを見ながら紹介し、戦争に関わった日本の人々の思いを伝えます。

- 日時： 2016年7月18日（月曜日、祝日）13:10～16:10
- 開催場所： 東海学園大学 名古屋キャンパス（名古屋市天白区）
1号館 3階 132講義室（大教室） 定員100名（先着順）
- 申し込み： 事前の申し込みは不要
- 参加費： 無料
- 講師： 橋詰 四郎（元関東軍兵士）、水野 晴仁（小学校教諭）
- 後援： あいち県民教育研究所 教育実践部会
- 内容

- 1 軍国主義下の日本
- 2 軍隊生活の真実～熾烈を極める軍事訓練
- 3 日ソ戦の死闘の様子
- 4 シベリアの収容所と強制労働
- 5 戦争体験者として伝えたいこと

★ 講師紹介

橋詰四郎(元関東軍兵士)

大正14年生まれ、91歳。19歳で徴兵され、満州(現在の中国東北部)にてソ連との国境警備を担う関東軍第六国境守備隊に配属。苛烈を極めた日ソ戦で昭和20年8月15日の降伏も知らず19日まで戦闘を続けた後、ソ連軍に投降。その後、ロシアのシベリア地方、クラスノヤルスクの収容所に連行され、強制労働に従事。幾多の困難を乗り越えて、祖国日本へ奇跡の生還を果たす。自身の体験はもとより、戦友やその家族らの戦争体験を伝える語り部として多方面で講演活動を続けている。豊明市在住。

水野晴仁(小学校教諭)

日本電気、トヨタ自動車に勤務した後、愛知県初の社会人特別選考教員として現職に就く。小学校時代の恩師(故人)より橋詰氏を紹介され親交を始める。橋詰氏が所蔵する膨大な戦争関連の資料を編纂し、教育教材【シベリア抑留と満州棄民】を制作、新聞誌上でも大きく取り上げられる。その後、橋詰氏とタッグを組み、戦争の実態を次世代の若者たちに伝えるための講演を行っている。現在、日進市立香久山小学校に勤務。専門は数学。

【教材は次のサイトからダウンロード可能】

http://www.geocities.jp/mizney_land/

★ 会場について

- 地下鉄鶴舞線 原駅下車、2番出口より徒歩で約12分。
- 会場までの経路では、ボランティアの高校生による案内があります。
- 当日は混雑が予想されますので、時間に余裕をもってお越しください。

